

令和3年千葉県毎月常住人口調査報告書（年報）の概要  
 県人口 6,272,900人(令和4年1月1日現在)

人 口 班  
 電話 043-223-2223

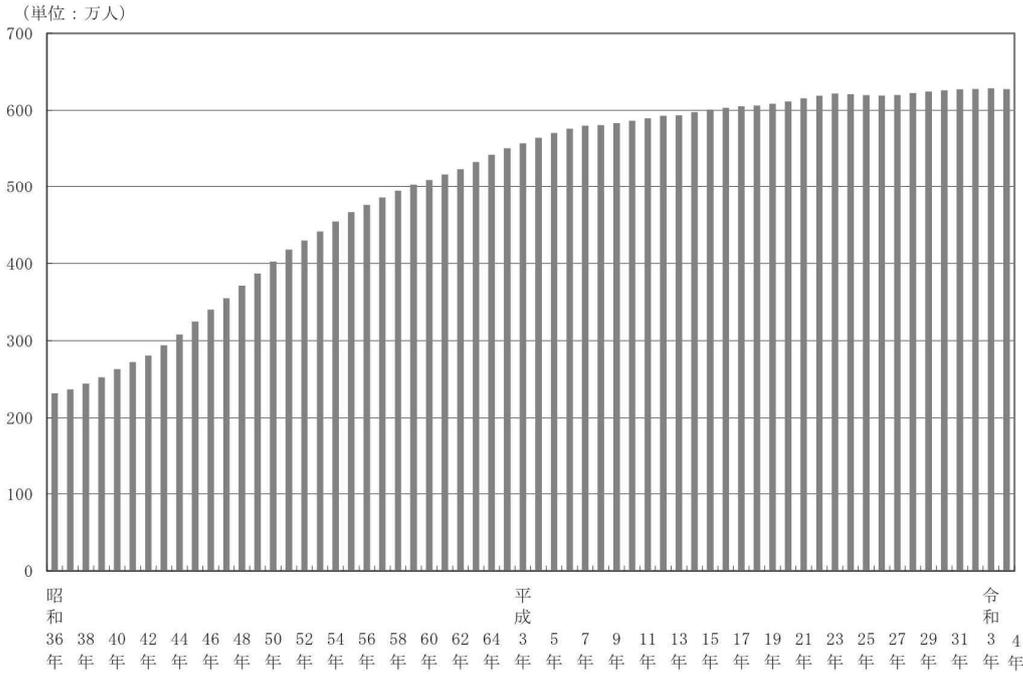
1. 人口総数

県人口 627 万人

令和4年1月1日現在の本県の人口は6,272,900人で、前年人口の6,284,955人に比べ12,055人、率にして0.19%減少した。本県の人口は、大正9年10月1日現在(国勢調査)1,336,155人で、その後増加を続け、昭和49年11月1日現在では400万人を超えて、4,002,808人となった。さらに、昭和58年10月1日現在では500万人を超え5,002,542人となり、平成14年9月17日に600万人を突破した。平成23年に初めて減少に転じ、平成25年まで3年連続で減少した。平成26年に再び増加に転じ、以降は令和2年まで引き続き増加したが、令和3年に改めて減少に転じた。

令和2年国勢調査によると、本県の人口は、6,284,480人で全国第6位となっている。また、本県の外国人数は令和4年1月1日現在161,923人で、前年の166,286人に比べ4,363人、率にして2.62%減少しており、県人口の2.6%を占めている。

図1 千葉県人口の推移(昭和36年~令和4年、各年1月1日現在)



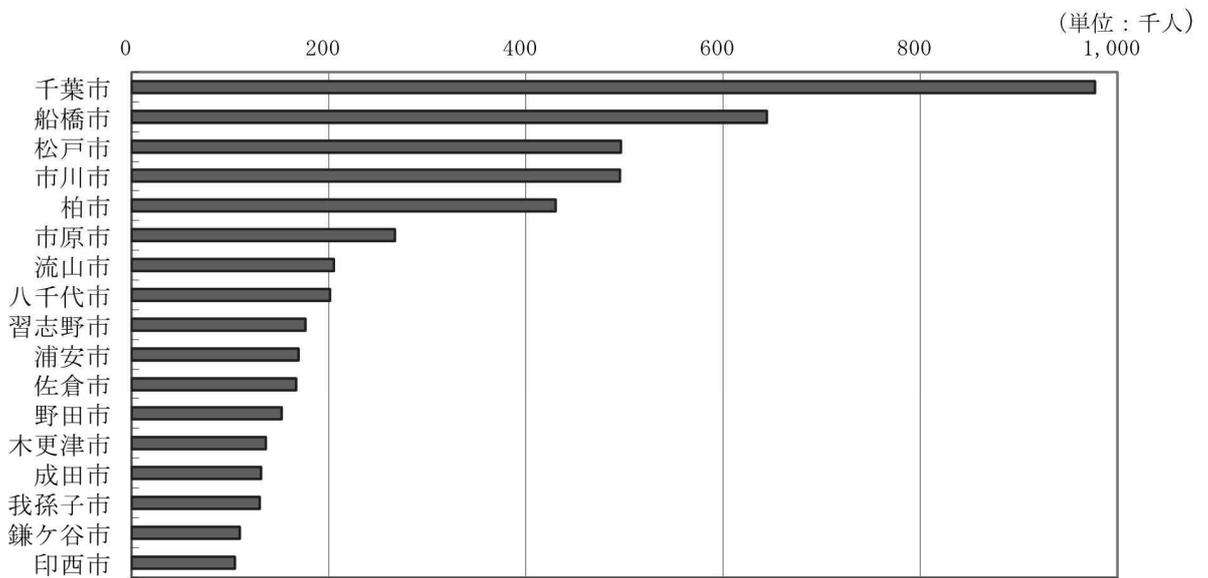
千葉市人口 98 万人  
 県人口の 15.6%を占める

令和4年1月1日現在の県人口を市町村別にみると、市部(37市)のうち10万人以上の市は17市あり、そのうち千葉市が977,306人(県人口に占める割合15.6%)で最も多く、郡部人口193,163人(同3.1%)の約5.1倍となっている。以下、船橋市644,443人(同10.3%)、松戸市496,350人(同7.9%)、市川市495,402人(同7.9%)、柏市430,096人(同6.9%)の順で続き、この5市で県人口の48.5%を占めている。郡部(16町1村)では、横芝光町が21,727人(同0.3%)で最も多く、以下、酒々井町20,506

人（同0.3%）、栄町19,869人（同0.3%）、九十九里町14,211人（同0.2%）、長生村13,612人（同0.2%）の順となっている。

また、本県の外国人人口を市町村別にみると、千葉市が28,692人（県外国人人口に占める割合17.7%）で最も多く、以下、船橋市19,021人（同11.7%）、市川市17,509人（同10.8%）、松戸市17,210人（同10.6%）、柏市9,767人（同6%）の順となっている。

図2 10万人以上の市（令和4年1月1日現在）



## 2. 人口増減

**人口増減数-1万2千人**  
**増減率 -0.19%**

令和3年中の本県の人口増減は、増減数-12,055人、増減率-0.19%で、前年（6,214人、0.10%）より減少した。うち、外国人人口増減は、増減数-4,363人、増減率-2.62%で、前年（27,613人、19.91%）より減少した。

近年の人口増減率の推移をみると、昭和42年から49年までは4%以上の増加率であったが、昭和57年からは1%台で推移、平成5年には1%を割った。その後、平成23年に初めてマイナスに転じ、平成25年まで3年連続でマイナスが続いた。平成26年に再びプラスに転じたが、令和3年に改めてマイナス（-0.19%）に転じた。

**自然増減数は減少**

令和3年中の自然増減は、増減数-25,918人（出生39,802人、死亡65,720人）で、前年の-20,832人（出生41,664人、死亡62,496人）に比べ出生が1,862人減少し、死亡が3,224人増加して自然増減数は5,086人減少した。うち、外国人の自然増減は、増減数1,044人（出生1,351人、死亡307人）で、前年の1,044人（出生1,282人、死亡238人）に比べ出生が69人増加し、死亡が69人増加して自然増減数は同数となった。

近年の自然増減を増減率（各年1月1日現在人口に対する自然増減総数の割合）でみると、昭和42年から54年までは1%以上の増加率であったが、昭和55年に1%を割り、平成元年以降は0.5%を下回って推移していたが平成23年に初めてマイナスに転じ、令和3年も-0.41%となった。

## 社会増減数は減少

令和3年中の社会増減は、増減数13,863人(転入173,297人、転出156,296人、県内の移動-330人、その他-2,808人)で前年に比べ13,183人減少した。うち、外国人の社会増減は、増減数-5,407人(転入24,730人、転出25,219人、県内の移動-25人、その他-4,893人)で、前年に比べ31,976人減少した。

前年の増減数27,046人(転入184,756人、転出158,055人、県内の移動-179人、その他524人)と比較すると転入が11,459人減少、転出が1,759人減少、県内の移動が151人減少、その他が3,332人減少している。また、外国人は前年の増減数26,569人(転入33,402人、転出26,531人、県内の移動-24人、その他19,722人)と比較すると転入が8,672人減少、転出が1,312人減少、県内の移動が1人減少、その他が24,615人減少している。

近年の社会増減を増減率(各年1月1日現在人口に対する社会増減総数の割合)で見ると、昭和37年から50年までは2%以上の増加率で、そのうち昭和44年は、3.97%と4%に近い高い増加率であったが、昭和51年以降は1%前後の増加率で推移し、平成2年以降は1%を下回った。平成23年、24年はマイナスとなったが、平成25年に増加に転じ、令和3年は0.22%となった。

図3 人口増減率の推移(昭和36年~令和3年)

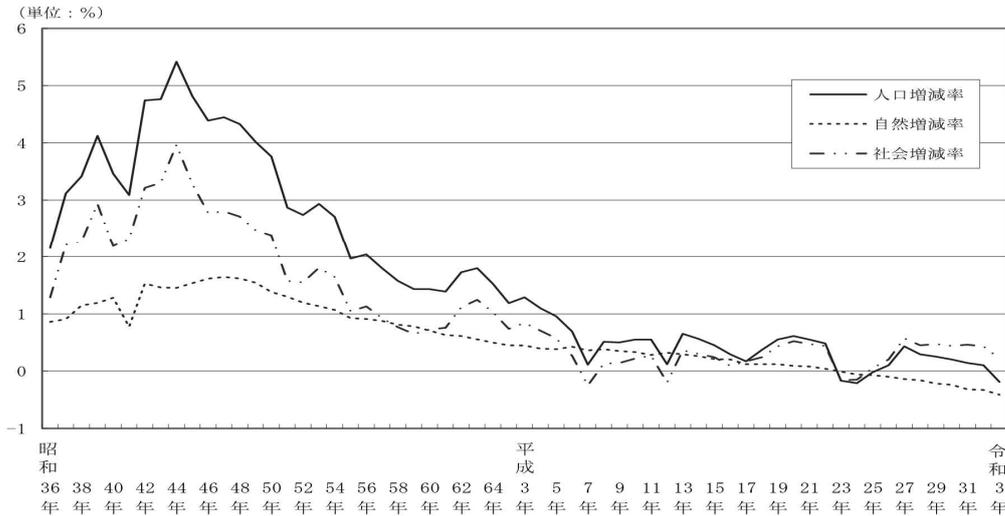


表1 月別動態別人口増減数(令和3年中)

区分	人口増減数	自然増減			社会増減				
		増減数	出生	死亡	増減数	転入	転出	県内の移動	その他
1月中	-2,055	-3,706	2,915	6,621	1,651	14,070	11,577	-402	-440
2月中	-3,898	-2,763	2,805	5,568	-1,135	12,402	13,090	-112	-335
3月中	2,171	-2,613	3,362	5,975	4,784	34,581	29,191	-306	-300
4月中	2,348	-2,070	3,335	5,405	4,418	21,908	17,842	571	-219
5月中	-1,502	-1,800	3,285	5,085	298	11,245	10,707	-146	-94
6月中	-720	-1,523	3,311	4,834	803	11,260	10,468	40	-29
7月中	-1,396	-1,684	3,361	5,045	288	11,404	10,837	-85	-194
8月中	-738	-1,787	3,721	5,508	1,049	11,711	10,635	96	-123
9月中	-1,158	-1,596	3,576	5,172	438	10,999	10,319	-66	-176
10月中	-1,582	-1,858	3,372	5,230	276	11,653	10,988	-227	-162
11月中	-853	-2,032	3,597	5,629	1,179	11,400	10,090	160	-291
12月中	-2,672	-2,486	3,162	5,648	-186	10,664	10,552	147	-445
計	-12,055	-25,918	39,802	65,720	13,863	173,297	156,296	-330	-2,808

注) その他とは、職権による記載・消除等をいう。

**10市で人口増加  
最高増減率は流山市 2.09%**

令和3年中の人口増減を市町村別にみると、10市で人口が増加し、44市町村で減少した。増加数では流山市が4,203人で最も多く、以下、柏市2,680人、印西市1,839人、千葉市1,601人、八千代市1,178人と続いている。逆に減少数では市原市が2,031人で最も多く、以下、松戸市1,558人、銚子市1,524人、成田市1,515人、佐倉市1,387人の順となっている。

また、増加率では流山市が2.09%で最も大きく、以下、印西市1.78%、袖ヶ浦市0.66%、柏市0.63%、八千代市0.59%と続いている。逆に、減少率では鋸南町が3.26%で最も大きく、以下、九十九里町2.62%、銚子市2.62%、多古町2.57%、勝浦市2.56%の順となっている。

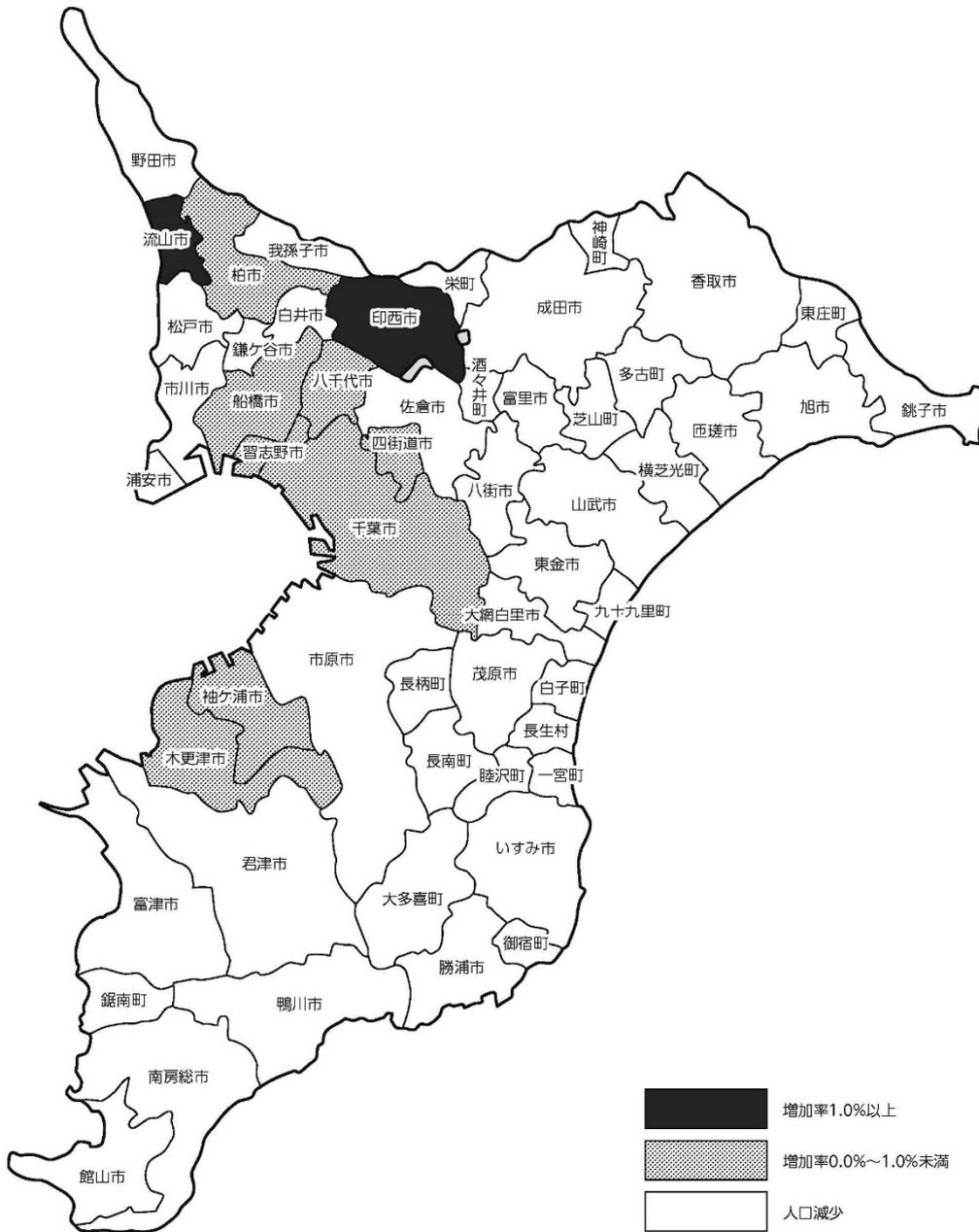
**表2 人口増減数上位5市町村（平成29年～令和3年）**

順位	平成29年		平成30年		平成31(令和元)年		令和2年		令和3年	
	市町村	増加数 人	市町村	増加数 人	市町村	増加数 人	市町村	増加数 人	市町村	増加数 人
1	流山市	4,823	流山市	5,074	流山市	4,942	流山市	5,920	流山市	4,203
2	船橋市	4,580	船橋市	4,081	柏市	4,892	松戸市	5,131	柏市	2,680
3	市川市	3,861	柏市	3,595	船橋市	3,340	船橋市	4,029	印西市	1,839
4	柏市	3,743	市川市	2,931	市川市	2,656	習志野市	2,345	千葉市	1,601
5	千葉市	2,226	千葉市	2,217	千葉市	2,467	八千代市	2,087	八千代市	1,178
順位	平成29年		平成30年		平成31(令和元)年		令和2年		令和3年	
	市町村	減少数 人	市町村	減少数 人	市町村	減少数 人	市町村	減少数 人	市町村	減少数 人
1	市原市	1,386	銚子市	1,374	香取市	1,367	千葉市	4,514	市原市	2,031
2	銚子市	1,297	市原市	968	銚子市	1,357	柏市	2,671	松戸市	1,558
3	香取市	1,144	八街市	947	市原市	1,354	佐倉市	2,289	銚子市	1,524
4	君津市	948	香取市	933	君津市	926	市原市	906	成田市	1,515
5	旭市	826	君津市	793	八街市	834	山武市	746	佐倉市	1,387

**表3 人口増減率上位5市町村（平成29年～令和3年）**

順位	平成29年		平成30年		平成31(令和元)年		令和2年		令和3年	
	市町村	増加率 %	市町村	増加率 %	市町村	増加率 %	市町村	増加率 %	市町村	増加率 %
1	流山市	2.68	流山市	2.74	流山市	2.60	流山市	3.03	流山市	2.09
2	印西市	2.13	印西市	2.07	印西市	2.23	一宮町	2.13	印西市	1.78
3	袖ヶ浦市	0.97	袖ヶ浦市	1.26	柏市	1.15	印西市	1.64	袖ヶ浦市	0.66
4	四街道市	0.96	四街道市	0.93	袖ヶ浦市	1.07	習志野市	1.35	柏市	0.63
5	八千代市	0.90	浦安市	0.89	四街道市	0.89	酒々井町	1.24	八千代市	0.59
順位	平成29年		平成30年		平成31(令和元)年		令和2年		令和3年	
	市町村	減少率 %	市町村	減少率 %	市町村	減少率 %	市町村	減少率 %	市町村	減少率 %
1	長南町	2.76	芝山町	2.66	鋸南町	3.03	鋸南町	4.89	鋸南町	3.26
2	勝浦市	2.73	鋸南町	2.55	長柄町	2.82	長南町	4.21	九十九里町	2.62
3	九十九里町	2.50	大多喜町	2.37	長南町	2.25	九十九里町	2.93	銚子市	2.62
4	銚子市	2.06	勝浦市	2.23	銚子市	2.25	勝浦市	2.54	多古町	2.57
5	鋸南町	1.94	銚子市	2.23	勝浦市	2.17	大多喜町	2.27	勝浦市	2.56

図4 市町村別人口増減率（令和3年1月～令和3年12月）



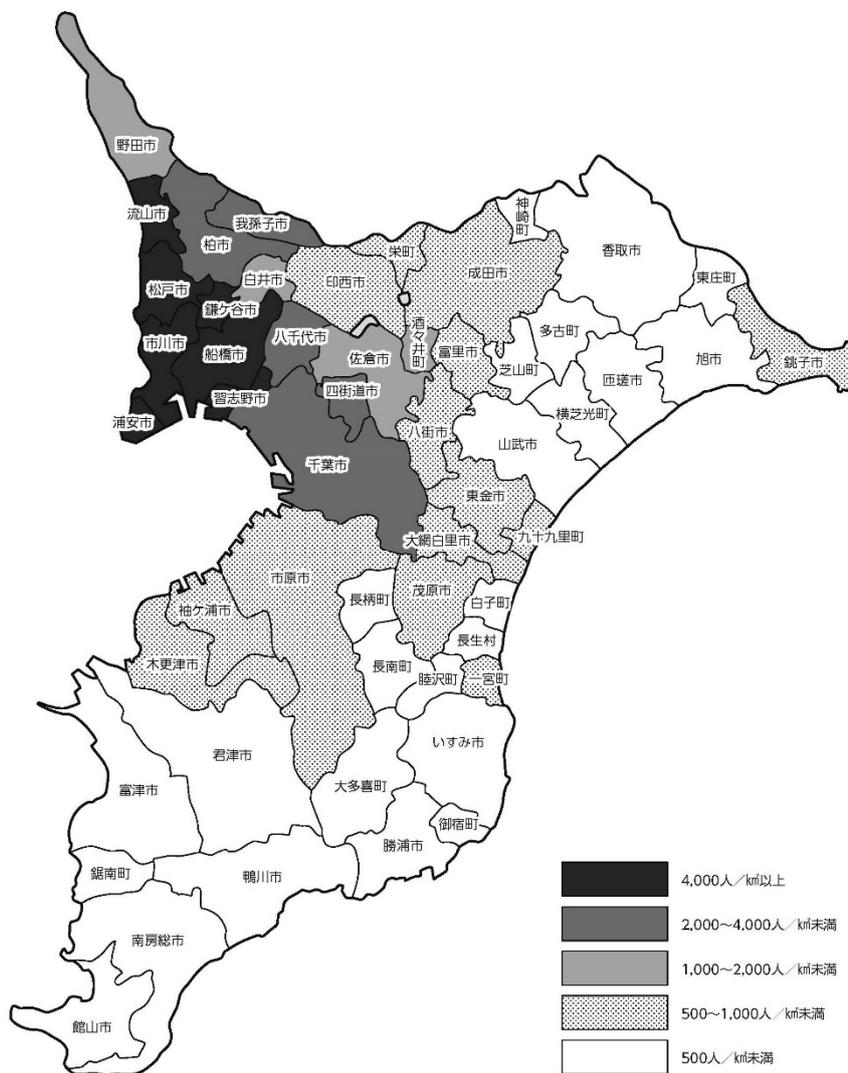
### 3. 人口密度

**県人口密度 1,216.3 人/km<sup>2</sup>**  
**市町村別人口密度は浦安市が**  
**9,792.3 人/km<sup>2</sup>で最高**

本県の人口密度は、令和4年1月1日現在1,216.3人/km<sup>2</sup>で、前年の人口密度(1218.6人/km<sup>2</sup>)に比べ2.3人/km<sup>2</sup>低くなった。市郡別にみると、市部1,380.1人/km<sup>2</sup>、郡部256.9人/km<sup>2</sup>で、市部は郡部の約5.4倍の人口密度となっている。

人口密度を市町村別にみると、浦安市が9,792.3人/km<sup>2</sup>で最も高く、以下、市川市8,623.2人/km<sup>2</sup>、習志野市8,407.8人/km<sup>2</sup>、松戸市8,086.5人/km<sup>2</sup>、船橋市7,526.8人/km<sup>2</sup>と続き、逆に人口密度の低い市町村は、大多喜町66.3人/km<sup>2</sup>、長南町107.5人/km<sup>2</sup>、長柄町139.0人/km<sup>2</sup>、鋸南町148.6人/km<sup>2</sup>、南房総市151.8人/km<sup>2</sup>の順となっている。

図5 市町村別人口密度(令和4年1月1日)



#### 4. 世帯数

県世帯数 280 万世帯

1 世帯当たり人員は 2.24 人

令和 4 年 1 月 1 日現在の本県の世帯数は 2,801,855 世帯

で、前年の世帯数 2,779,954 世帯に比べて 21,901 世帯増加し、増減率では 0.79% となり、人口増減率 -0.19% よりも高い率となっている。

1 世帯当たり人員は 2.24 人で、前年の 2.26 人に比べ 0.02 人減少した。

また、1 世帯当たり人員を市町村別にみると、東庄町の 2.81 人が最も多く、以下、芝山町 2.75 人、陸沢町 2.70 人、多古町 2.67 人、長南町 2.67 人と続き、逆に最も少ないのは市川市の 2.03 人で、以下、勝浦市 2.05 人、浦安市 2.12 人、松戸市 2.13 人、千葉市 2.15 人の順となっている。

県の 1 世帯当たり人員より少ないのは 12 市町で、多いのは 42 市町村となっている。

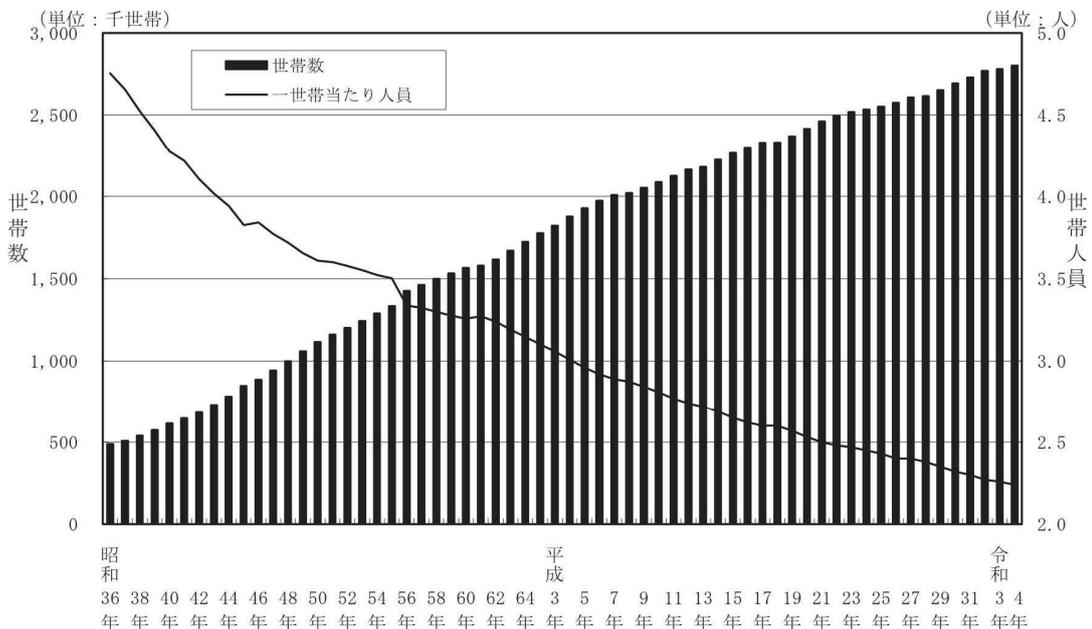
表 4 月別世帯増減数 (令和 3 年中)

(単位：世帯)

区分	増減数	転入	転出	その他
1月中	1,236	10,446	7,768	-1,442
2月中	-770	8,568	8,626	-712
3月中	11,718	23,709	13,285	1,294
4月中	6,570	14,832	9,164	902
5月中	909	7,718	6,073	-736
6月中	1,112	7,637	6,220	-305
7月中	328	7,425	6,400	-697
8月中	554	7,341	6,055	-732
9月中	460	7,393	6,187	-746
10月中	75	7,575	6,639	-861
11月中	555	7,443	6,090	-798
12月中	-846	6,741	6,469	-1,118
計	21,901	116,828	88,976	-5,951

注) その他は、県内間の転入転出、死亡世帯及び職権による記載・消除等をいう。

図 6 世帯数及び世帯人員数の推移 (昭和 36 年～令和 4 年、各年 1 月 1 日現在)



## 5. 県外との人口移動

人口移動総数 33 万人

移動率 5.25%

令和 3 年中の県外との移動者総数（転入者数と転出者数の和）は、329,593 人で前年の 342,811 人に比べ 13,218 人減少し、移動率（各年 7 月 1 日現在人口に対する移動者総数の割合）は 5.25%と、前年の 5.46%に比べて 0.21 ポイント下降した。

1万7千人の転入超過

転入超過率 0.27%

令和 3 年中の県外からの転入者数は 173,297 人（前年 184,756 人）、転出者数は 156,296 人（同 158,055 人）で、転入超過数は 17,001 人（同 26,701 人）となった。

また、令和 3 年の転入超過率（各年 7 月 1 日現在人口に対する転入超過数の割合）は 0.27%となり、前年の 0.42%に比べて 0.15 ポイント下降した。

なお、県外（46 都道府県）との関係は、38 都道府県から転入超過となり、8 県へ転出超過となっている。

表 5 年次別他都道府県間人口移動総数（平成 14 年～令和 3 年）

年次	移動数	移動率	転入超過数 (-は転出超過)	転入超過率 (-は転出超過)	転入数	転出数	千葉県人口 (各年7月1日現在)
平成14年	392,787 人	6.55 %	17,385 人	0.29 %	205,086 人	187,701 人	5,992,362
15年	397,319	6.60	16,827	0.28	207,073	190,246	6,020,313
16年	384,037	6.35	6,233	0.10	195,135	188,902	6,048,643
17年	382,865	6.32	9,173	0.15	196,019	186,846	6,059,169
18年	380,885	6.27	14,845	0.24	197,865	183,020	6,073,549
19年	381,227	6.25	25,649	0.42	203,438	177,789	6,102,892
20年	376,061	6.13	30,077	0.49	203,069	172,992	6,139,750
21年	368,613	5.97	26,341	0.43	197,477	171,136	6,177,586
22年	354,989	5.73	12,669	0.20	183,829	171,160	6,199,614
23年	345,430	5.56	-11,418	-0.18	167,006	178,424	6,215,256
24年	333,281	5.38	-8,571	-0.14	162,355	170,926	6,197,944
25年	327,570	5.29	6,982	0.11	167,276	160,294	6,191,925
26年	328,341	5.30	15,435	0.25	171,888	156,453	6,195,734
27年	348,343	5.61	21,979	0.35	185,161	163,182	6,207,032
28年	347,940	5.58	28,964	0.46	188,452	159,488	6,239,018
29年	359,831	5.75	30,169	0.48	195,000	164,831	6,254,216
30年	369,647	5.90	31,191	0.50	200,419	169,228	6,267,917
平成31(令和元)年	381,127	6.07	32,475	0.52	206,801	174,326	6,277,952
令和2年	342,811	5.46	26,701	0.42	184,756	158,055	6,284,300
3年	329,593	5.25	17,001	0.27	173,297	156,296	6,281,299

表 6 千葉県との転入・転出超過上位都道府県（平成 29 年～令和 3 年）

順位	平成29年		平成30年		平成31(令和元)年		令和2年		令和3年	
	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数	都道府県	転入超過数
1	茨城県	1,292 人	茨城県	1,512 人	茨城県	1,018 人	東京都	3,559 人	東京都	8,595 人
2	福岡県	1,200	大阪府	1,276	大阪府	1,000	愛知県	1,169	宮城県	792
3	大阪府	886	福岡県	1,002	福岡県	966	茨城県	824	愛知県	759
4	宮城県	805	宮城県	892	愛知県	956	大阪府	707	大阪府	657
5	青森県	709	北海道	681	兵庫県	836	福岡県	618	新潟県	606
順位	平成29年		平成30年		平成31(令和元)年		令和2年		令和3年	
	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数	都道府県	転出超過数
1	東京都	1,165 人	東京都	1,939 人	東京都	2,374 人	神奈川県	1,160 人	神奈川県	551 人
2	埼玉県	646	神奈川県	1,135	神奈川県	1,886	埼玉県	552	茨城県	432
3	神奈川県	559	埼玉県	936	埼玉県	1,298	群馬県	129	埼玉県	214
4	群馬県	86	鳥取県	14	滋賀県	58	沖縄県	46	山梨県	187
5					沖縄県	9			群馬県	143